

山行報告書

山行管理部

例会山行 音羽山 10月25日 L楠本 参加47名(内一般2名)

京阪京橋駅 8:27⇒三条駅 9:12→地下鉄東西線三条京阪駅(浜大津線)に乗り換え→9:50 地下鉄大谷駅下車 →10:00 逢坂関所跡(トイレ)→10:30 出発→分岐→11:50 音羽山頂上 12:40(昼食)→13:35 牛尾観音(トイレ)→14:30 地下鉄追分駅(解散)

下見は7月中旬の夏日で暑く、本番?は秋晴れで快適に感じました。コース前半は階段が多く息を荒げましたが、その分山頂は絶景でした。後半はなだらかな山道で、随所に小さな滝があり癒され下山。無事に追分駅。昼食時に会員皆さんの協力のおかげで、地下鉄東西線大谷駅の切符代金がスムーズに回収出来て良かった。有り難うございました。(高田 記)

ウィークデー 三室山、龍田川から斑鳩の里を歩く

10月28日 L阪上 参加9名

法隆寺駅 9:55-春日神社 10:15-三室山 11:10-龍田川公園 11:45(昼食) 12:15-龍田神社 12:45-藤の木古墳 13:15-西里の街並み-法隆寺 14:35-法隆寺駅 15:10(解散)

夜降った雨もあがり、さわやかな秋晴れの吹く風も心地よいハイキング日和となりました。法隆寺駅を出発。大和川の土手の上から雨が降ったら沈むという潜橋を見たり、三室山では和歌のにわか勉強会。昼食のあと酒造会社を訪問し酒や漬物のお買物も楽しく奈良街道をのんびり歩いた。民家の先にある藤の木古墳は未盗掘で有名で石棺を覗きながら埋葬されたのは誰だと古に思いをはせました。途中仕掛けで捕えられたイノシシを見たりして法隆寺まで歩きました。(五十嵐 記)

有志山行 武尊山 赤城山 皇海山 日光白根山(男体山)

10月28日~11月3日 L吉田(隆) 参加5名

10月28日(水):長田(8:00)→清里(16:00) 谷川ラズベリーYH(泊)
10月29日(木):武尊山 谷川 YH(6:30)→林道終点(7:00)…
手小屋沢避難小屋(8:40)…武尊山(10:50~11:40)…
剣ヶ峰(12:40~12:50)…武尊沢渡渉点(14:30)…
林道終点(15:20) 移動 青木旅館別館(泊)
10月30日(金):赤城山 青木旅館(6:30)…黒檜登山口(7:20)…
黒檜山(8:50)…展望台(9:10~9:25)…

駒ガ岳（10：20～10：30）…青木旅館（11：45）移動
老神温泉湯元楽善荘（泊）

10月31日（土）：皇海山 楽善荘（6：30）→不動沢登山口（7：40）
… 不動沢のコル（9：20）…皇海山（10：15～10：30）…
不動沢のコル（11：30）不動沢登山口（13：00）移動
民宿大滝山荘（泊）

11月1日（日）：日光白根山 大滝山荘（7：30）→ゴンドラ（8：00）
山頂駅（8：30）…日光白根山（11：20）…山頂駅（13：40）
ゴンドラ乗場（14：00）移動 民宿おかじん（泊）

11月2日（月）：おかじん（8：00）→長田（17：20）

秋山で連日登降繰り返し四座を登った事は初めてでした。11月2日は男体山予定で、天気予報では雨、当日雲行きを見ていたが、雨が降り出し登山をあきらめ一日早く帰阪しました。28日から11月1日迄の5日間はお天気に恵まれ4座共皆登頂でき良かったです。大体計画通りのコースタイムで武尊山は手小屋沢避難小屋を登りに変更。岩場、鎖、梯子と気遣い、剣ヶ峰を通り下山する道もざれた急坂や段差が大きく歩きにくい所もあり慎重を要した。皇海山は登山口迄のアプローチが長く狭い砂利道悪路で、上手なSさんの運転さばきで往復して登ることが出来ました。日光白根は青空で頂上では遮る物がなく富士山、日光連山、中央アルプス、燧うち、至仏、谷川等360度大展望で、至福のひとつときで、山の上は落葉していたが、山復、山裾は紅葉のグラデーションが綺麗で感動と感激でした。秋山はお花が少ないが、身体は夏より楽な感じでした。男体山は又の機会にしましょう。（島袋 記）

ウィークデー みたらい溪谷 11月6日 L定井(国) 参加12名
7時50分近鉄阿倍野橋駅より下市口駅へ着き路線バスで天川河合へ、10時35分よりみたらい溪谷散策道を歩く。紅葉真っ盛りで参加者全員色づく木々を十分に楽しめた。溪谷のすばらしい滝を眺めながら13時30分洞川温泉到着し1時間程入浴を楽しむ。15時前洞川温泉バス停より帰途に着く。参加者の中から毎年この時期にこの企画を組んで欲しい等の感想が聞かれた。（定井(国) 記）

サロン 南河内太子町歴史ウォーキング 11月7日 L矢野 参加10名
近鉄あべの橋 9:14→喜志駅・喜志駅前（金剛バス）10:05→仏眼寺橋バス停降車
10:20→敏達天皇陵→葉室古墳群→推古天皇陵→二子塚古墳 11:30（昼食）→小野

妹子墓→科長神社→孝徳天皇陵→大道旧山本家住宅→太子町竹内街道交流館→太子町道の駅→用明天皇陵→西方院→叡福寺・聖徳太子御廟→御廟前（金剛バス）
15:33→喜志駅 16:15→あべの橋 17:00 解散

前回藤井寺市・羽曳野市の古市古墳群を古代歴史ウォーキングして好評でしたので2回目のシリーズを企画。古代史に詳しい方もおられ、お話も面白く聖徳太子の遺徳を偲びました。無人の野菜売り場、道の駅での買い物、旧山本家と交流館での土地の人との会話など楽しい時間を過ごした。西方院近くの柿畑で人の良さそうなおじさんに大きな柿を安く分けて貰い、重いのにたくさんリュックに詰めていた女性はさすが大阪のおばちゃん？と感じました。歩いた距離は10キロはあり少し疲れましたが道草とダベリングで楽しい秋の1日でした。

（矢野 記）

自然保護部 芦生原生林ハイキング 11月7～8日（豊中労山との交流）

L太田 参加31名（豊中12名、きたろう19名）

11/7（土）JR園部駅（10:00）→芦生山の家（11:30）→櫻峠（13:00）→
幽仙橋 →内杉谷 →芦生山の家（15:50）

11/8（日）芦生山の家（08:00）→杉尾峠（08:50）→長治谷（12:00）→
下谷の大桂 →とちの木平 →芦生山の家（13:30）→JR園部駅（15:00）

7日

送迎バスが美山を過ぎたあたりから見事な紅葉が目に入り、車内からも感嘆の声
が…… 特に銀杏（イチョウ）の黄金色が青空に映える。「芦生山の家」で弁当を
食べた後、ガイドの案内でイワカガミとイワウチワの違い、メタセコイヤの紅、
コシアブラの黄葉、ミニチュアキーウィそっくりのサルナシの実等、芦生の森の
魅力いっぱいのお話を聞きながら散策をした。夕食後は豊中労山との交流会。府連
盟の中でも会員数が一番多い当労山の(1)会員を三つのランク分け(2)会費を4月
に1年分を一括徴収して早期の収入の確定等の運営方針も聞け、有意義な時間
を持つことができた。

8日

明け方からの雨で、杉尾峠から徒渉のある上谷へ急遽予定を変更。由良川の源頭
の場所へ。今年がブナの実の当たり年である事。ツルアジサイ。めずらしい杉の伏条
更新（雪が2m・積もるそう）。杉の木にはクマハギ防止のビニールのひもが巻か
れていた。ツキノワグマの生息地だとか。山行中は大雨にならず由良川の水も濁っ
ておらず、小雨の森は葉の色が美しく静まり返っていて森の精でも現れそうな……
幽玄郷の世界。帰りのJR園部駅に向かう途中「道の駅」で新鮮な野菜をゲットで
きた。

（太田、石野（博）

記)

教育部山行 読図講習 芦屋川-ロッカガーデン-横池-金鳥山-岡本

11月 8日 L高橋 参加4名

阪急芦屋川駅 集合。会下山遺跡 地形図の記号の説明と確認。地形を読む：実地の地形と等高線の表現を体感する。306ピークへ：読図によってピークを目指す。降雨のため行先変更して屋根のある荒地山南麓で昼食と座学。地図で登山道表示のない荒地山までの工程を読図確認。

11月に入り好天続きだったのに生憎の雨のためか一般会員の参加者はゼロ。今回の読図の担当を初めて、高橋さんに託し今までと違った視線、視点からの講習を目指した。講師の伝えたい部分を強調するなど事前の予定を詳細に練り、私も新鮮な山行であった。今回の講師の情熱が一般会員へ伝えられなかったのは非常に残念だったが、内容的には次回へつながる非常に内容の濃い講習であった。 (高橋 記)

土曜・ターブル合同山行 百里ヶ岳 11月14日 L定井・原 参加35名

A10:00 百里新道登山口出発—11:30 県境分岐—11:58 百里ヶ岳頂上
12:05—12:20 県境分岐(昼食休憩) 13:00—根来坂峠 13:35
—小入谷バス亭 [1班下山時刻14:35、2班下山時刻14:55]

天気予報で現地は雨と曇りの予報で予定者39名の内前夜4名、当日朝1名の不参加表明あり。しかし山の天気は登山口に着かねばわからない。バス到着時には雨は止み昼食を採る頃までは雨具なしでも歩ける状態だったが広い山頂はおそらく十数メートルは有るだろう強風で5分の滞在も許さない寒さですぐ下山を余儀なくされ山名の由来の遠望は出来なかったのが残念だ。来年に予定されている高島トレイルでは百里ヶ岳頂上を通過する部分が有るのでこのときを期待しよう。

(定井(国) 記)